

# うさぎぐみだより No.18



## おいもほり

以前より、芋ほりをとっても楽しみにしていたうさぎ組。「何個芋が出てくるかな」と期待の眼差しで畑に向かいました。

『せーの！』の掛け声で一斉につるを引っ張る子どもたち。「きゃー」「1, 2, 3, 4!! 4つ!!」「長い~!」とあちこちで歓声が上がりました☆



いっぱいだよ!!

長い~



掘った芋を集め、みんなで観察しました。「大きいのとかが細いのとかが色々な形がある」「たくさん兄弟がくっついてる」「色は紫とかピンクみただけど傷がついている所はクリーム色をしていた! 中もクリーム色だった」等たくさんの発見がありました。



根っこがいっぱいある!

大分市立津留幼稚園  
うさぎぐみ  
2018. 11. 12

芋の観察をしているうちに個数が気になってきた子どもたち。「このままじゃ数えにくいな」「どうする?」「並べよう!」とみんなで芋を並べてみることにしました!

109...110...



数えてみるとなんと全部で158個!! たくさんの芋が取れたことをみんなで喜びました。

自分たちで芋を育てることや芋ほりを通して、食に興味を持ったり、食のありがたみを感じたりしてほしいと思い、芋ができるのにどのくらい時間がかかったか思い出したり、草取りや水やり等したことを振り返ったりしました。子どもたちは早速「天ぷらにしたい~」「焼き芋にしたい~」「早く食べたい~」と楽しみにしているようでした。

着替えや長靴等準備をありがとうございました。おかげさまで思い切り芋ほりを体験できました。



芋の山みたい!



観察中...